

北九州市津波ハザードマップ



あわせて、「北九州市防災ガイドブック」を確認しておきましょう。避難に活用できる気象情報・水位情報や非常持ち出し品リストなど、より詳しい内容を掲載しています。

防災ガイドブック掲載 URL

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kiki-kanri/13801096.html>



発行 平成 29 年 2 月
問い合わせ先 北九州市危機管理室危機管理課
〒803-8501 北九州市小倉北区城内 1-1
TEL : (093)582-2110

津波避難の心得

まずは地震から身を守り、揺れや津波情報をきっかけにできるだけ早く、高いところへ避難しましょう。いざというときに安全に避難できるように、日頃から揺れへの備えや避難場所の確認をしておきましょう。

時間の流れ

緊急地震速報 地震発生

- 緊急地震速報を見聞きしたら...
- 揺れを感じたら...

身の安全を確保

まず低く (DROP!) → 頭を守り (COVER!) → 動かない (HOLD ON!)

テーブルなどの下で頭を保護

津波情報の種類と情報毎のとりべき行動

大津波警報 (特別警報) や 津波警報 を見聞きしたら...

沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに安全な場所へ避難してください。

津波注意報 を見聞きしたら...

海の中にいる人は、直ちに海から上がって、海岸から離れてください。

※大津波警報や津波警報は携帯電話などに自動的に配信される緊急速報メール (エリアメール) や登録制防災メールでも配信します。

登録方法は [こちら](#)

津波襲来

- 津波情報を見聞きしたら...
- 津波情報がなくても、大きな揺れやゆっくりとした長い揺れを感じたら...
- 避難が遅れてしまったら...
- 津波が迫ってきたら...

津波情報が解除されるまで避難を続ける

原則 / 早めの避難

できるだけ早く、高いところへ

浸水想定区域の中にお住まいの方は揺れや津波情報をきっかけに直ちに高いところへ避難しましょう。浸水想定区域の外にお住まいの方も浸水想定区域に近づかず、想定外に備えましょう。

逃げ遅れたら / その場そのときで命を守る行動を

津波が見えてから遠くへ逃げても間に合わないため、近くにある少しでも高い頑丈な建物、高い場所へ駆け上がる

小さい津波でも大きな破壊力 第1波が最大とは限らない

津波は繰り返しやってくる

可能であれば非常持ち出し袋を持って避難

早い段階での避難先

避難できる高いところを記入しましょう。

裏面を参考に、避難所に限らず、お住まいの地域の状況を確認し、2つの避難先を記入欄に記入しましょう。

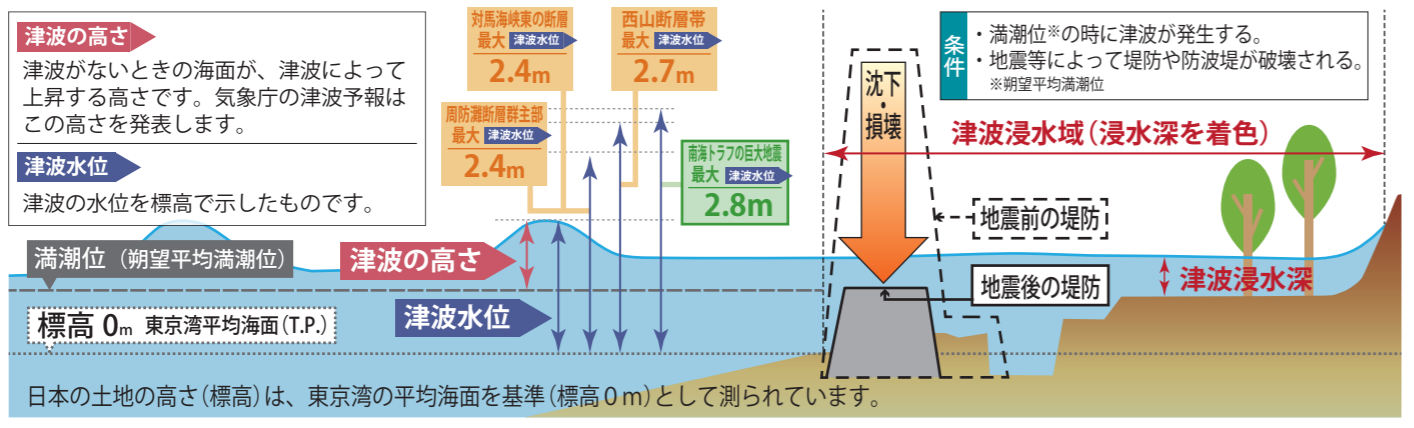
逃げ遅れたときの避難先

近くにある高い頑丈な建物や高い場所を記入しましょう。

対象津波の設定について

- このハザードマップは、平成 28 年 2 月に福岡県が公表した最大クラスの津波の浸水想定を基に作成しています。
- 裏面の津波の想定浸水深は、以下の浸水想定結果のうち、最も深くなる浸水の様子を示したものです。
- 津波の浸水域や浸水深、到達時間はあくまで目安です。実際の津波は、想定よりも大きくなったり早く到達したりする可能性があります。

| 対象津波 | 津波到達までの時間 | 最大津波の到達時間とその水位 |
|-------------------------|---------------------|----------------------------------|
| 海底活断層による津波 | | |
| 対馬海峡東の断層 (マグニチュード7.4) | 地震発生から 約 1 時間 40 分後 | 地震発生から 約 2 時間 30 分後 最大 津波水位 2.4m |
| 西山断層帯 (マグニチュード7.6) | 地震発生から 約 50 分後 | 地震発生から 約 1 時間 10 分後 最大 津波水位 2.7m |
| 周防灘断層群主部 (マグニチュード7.2) | — | 地震発生から 約 1 時間 20 分後 最大 津波水位 2.4m |
| 南海トラフの巨大地震 (マグニチュード9.1) | 地震発生から 約 3 時間 30 分後 | 地震発生から 約 4 時間 10 分後 最大 津波水位 2.8m |



☑ 災害情報メール配信サービス <利用には空メール送信による登録が必要です>

もらって安心災害情報配信サービス (北九州市)

気象情報、避難情報、地震情報や消防車の出動等

登録メール e-kitakyushu@xpressmail.jp

防災メール・まもるくん (福岡県)

気象情報、避難情報、災害時の安否情報通知、避難支援マップ等

登録メール mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp

津波避難の3原則 ~ 3.11 東日本大震災の教訓 ~

平成 23 年に発生し、2 万人近い方が犠牲になった 3.11 東日本大震災。岩手県釜石市の子どもたちは避難の 3 原則を“実践”して、大津波から自分の命だけでなく、地域の人の命も守りました。

最善をつくす

「僕はいいから逃げろ」と言う義足の友人をおぶって 400m 先の高台へ逃げた。(小学 6 年生)

想定にとられない

家が浸水想定区域外にあったため、逃げようとしないうじいちゃんと目が不自由なおばあちゃんに「想定どおりにはならない。お願いだから“逃げよう”と訴え、家族の命を救った。(小学 4 年生)

率先避難者たれ

部活動中に地震が起き、揺れがおさまった後、「津波が来るぞ、逃げるぞ」と叫び、隣の小学校や周りの住民を巻き込んで避難し、結果的にたくさんの人の命を救った。(釜石東中学校の生徒達)

小倉北区
北九州市津波ハザードマップ
藍島・馬島



凡例 (平成 29 年 2 月現在)

避難場所 津波対応のみ

- 予定避難所 (Green house icon)
- 一時避難地 (〇〇公園) (Green person icon)
- 広域避難地 (〇〇公園 (広)) (Green person icon)

土砂災害

- 土砂災害特別警戒区域 (Red hatched box)
- 土砂災害警戒区域 (Orange hatched box)

※地震により土砂災害が発生する可能性があります。避難計画の参考としてください。

防災スピーカー

- 防災スピーカー (Speaker icon)

0.0 標高点 (海拔)

0 200 400m N
1:8,000

津波

想定浸水深

- 2.0 ~ 5.0m未満 (Red)
- 1.0 ~ 2.0m未満 (Orange)
- 0.3 ~ 1.0m未満 (Yellow)
- 0.3m未満 (Light yellow)

浸水深と家屋の関係

この地図の一部は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。
(承認番号 平 28 情使、第 853 号)

